

## 福井好文氏旧蔵土地区画整理関係史料概要

- 1: 文書群番号 101025
- 2: 文書群名 福井好文氏旧蔵土地区画整理関係史料
- 3: 出所 福井好文氏
- 4: 家業・役職等 難波区方面委員、東難波区民生委員（児童委員）、東難波社会福祉協会会長
- 5: 地名 尼崎市北難波町／尼崎市西難波町・東難波町ほか
- 6: 行政区分 尼崎市
- 7: 歴史  
市域南部の区画整理事業は、大正期に開始された耕地整理事業による実質的な区画整理事業と昭和の戦前期および戦後の区画整理事業があげられる。旧尼崎市域の一部については耕地整理事業後に室戸台風後の災害復興、太平洋戦争後の戦災復興を目的とする事業などが重ねて実施された地域もある。区画整理にともなって町名地番の改正が実施されたほか、部分的には住居表示が実施されるなど、町名地番は複雑な変遷をたどっている。  
都市計画事業法以前から行われていた耕地整理事業では、大正13年（1924）創立の竹谷新田耕地整理組合、翌年創立の西難波耕地整理組合、北部耕地整理組合などによって、当時の市域西部・北部の市街地化整備が行われた。いずれも昭和10年までに事業が完了し、広大な市街化用地が形成され、町名地番の改正が行われた。  
大正14年の尼崎都市計画区域策定にともない、まず昭和4年（1929）に都市計画街路が決定され、翌5年には耕地整理事業地区を除く市街地の町名改正が行われた。また同年11月には、市街地建築物法にもとづいて、住居地域・商業地域・工業地域・未指定地の四区分の土地指定が行われ、さらに都市計画による区画整理事業が実施されていった。  
本文書群は、これらの区画整理及び、それにとまなう町名地番改正に関する史料である。福井家が難波地区の地権者であったことからこれらの史料が同家に残ったものと推測される。
- 8: 伝来 神代（くましろ）憲治氏より情報を受け、平成13年（2001）11月に福井好文氏より借用、14年6月に整理・目録作成を完了し、16年4月に寄贈を受けた。
- 9: 史料入手先 福井好文氏（原蔵者）
- 10: 点数 48点（目録件数46件）
- 11: 年代 大正9年（1920）～昭和24年（1949）
- 12: 構造と内容 本文書群は、①昭和5の尼崎市域町名改正に関する図面と②昭和戦前期の土地区画整理事業の図面、③大正期の地図からなる。  
①は旧尼崎市域（現中央地区）の各地区の新旧町名・地番対照図など、②は北難波東部土地区画整理と西難波土地区画整理関係の図面で、③は大阪朝日新聞附録の兵庫県地図と大正期頃の大阪市地図である。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 中村 光夫